

2023 年度第 5 回 外洋常任委員会 議事録

1. 開催日；2024 年 1 月 18 日（金）18:00～19:00

2. 会議の場所及び方法：ZOOM 会議

出席者：（理事）

中澤信夫 副会長、大村雅一 常務理事、望月宣武 常務理事、石川彰 理事
岩瀬喜貞 理事、沼田浩行 理事、船澤泰隆 理事、中村和哉 理事、萩原ゆき 理事
（委員会関係）

日下部大蔵 ルール委員会外洋規則小委員長

坂口 城治 通信委員長

（敬称略）

記録者 鈴木保夫

3. 議事

18:00 より中澤副会長の開会の挨拶の後、大村常務理事の進行で開始した。

（1）外洋団体長会議の議題、資料

大村常務理事より、1 月 28 日開催の団体長会議について以下の説明がなされた。

- ① 開催場所及び方法は JAPAN SPORT OLYMPIC SQUAR 3 階会議室と WEB との併用開催とする。
- ② 加盟団体に関わる案件
 - ・ JSAF 外洋の 2024 年度の方針
 - ・ 理事及び評議員の改選について
 - ・ 会員管理、艇登録システム改正の進捗状況
 - ・ その他
- ③ 外洋レースに関するワールドセーリングの情報
- ④ 外洋レース開催の状況
 - ・ 外洋ダブルス日本選手権 2024
 - ・ 沖縄―東海レース
 - ・ その他
- ⑤ 各専門委員会報告
 - ・ 合同委員会の説明
 - ・ 安全委員会より OSR の改定について
- ⑥ 各団体からの報告
- ⑦ 次回団体長会議の開催場所について
- ⑧ 終了後に事務局長会議を開催

(2) 各委員会報告

・外洋常任委員会

2024 年度の活動について大村常務より、ワールドセーリングの外洋オリンピック種目に向けてのアドバイザリーボードの対応、サバイバルトレーニングの実施、加盟団体との関係、収支予算についての説明がなされた。

・ルール外洋小委員会

日下部委員長より 2 月に開催される合同会議の案内と、岩瀬理事よりクラブへのレース支援について、JSAF の会員ではないクラブメンバーの RRS の使用について疑問が出てきたので整理して進めたい、との報告がなされた。

・通信委員会

坂口委員長より、2024 年度は海岸局を維持するための調査及び無線のデジタル化の状況の発信を行うことが報告された。

- ・望月常務より情報プラットフォーム第 2 版の説明があり、団体長会議の事務局長会議においても説明することが報告された。

(3) 水域報告

各水域の担当理事より以下の報告があった。

・北海道・東北水域 石川理事

南北海道帆走協会では来年度は会員を増やす活動をする。

・中部水域 岩瀬理事

パールレースの報告と伊勢湾で行われているクラブレースと外洋東海のレースとのドッキングを計画する。

・関西水域 中村理事

レースの開催状況

・九州・沖縄水域 沼田理事

2024 年度は例年通りのレースを開催する。

3 月に九州水域のヨット関係の会議を開催する。

- ・船澤理事より全日本ミドルボート選手権大会が熱海で開催されることが報告された。

- ・大村常務より、能登半島地震による富山県、石川県、福井県におけるヨット活動への影響が説明された。

中澤副会長の閉会の挨拶で 19:00 に閉会となった。

以上